

7 東京都の感染者数の増加について

東京都での感染者数の増加が顕著になってきました。これまでも述べたように、東京都での感染者数が増加すると近隣の都府県や地方に波及しますが、その傾向も出てきています。ちなみに、7/10日現在の K 値（7日間の感染者数/累計患者数）は 0.13 と上昇しており、なんらかの規制が必要な状況です（少なくとも前回の緊急事態宣言解除時の 0.02 より多いことは確かです）。また、実効再生産数(Rt)は 1.85 であり、増加傾向と言えます。6月25日以降の感染者数を対数表示すると、指数関数的に患者数が増加していることがわかります（図1）。ちなみに、倍加時間は6.8日で、これは一週間で感染者数が倍になる計算です。

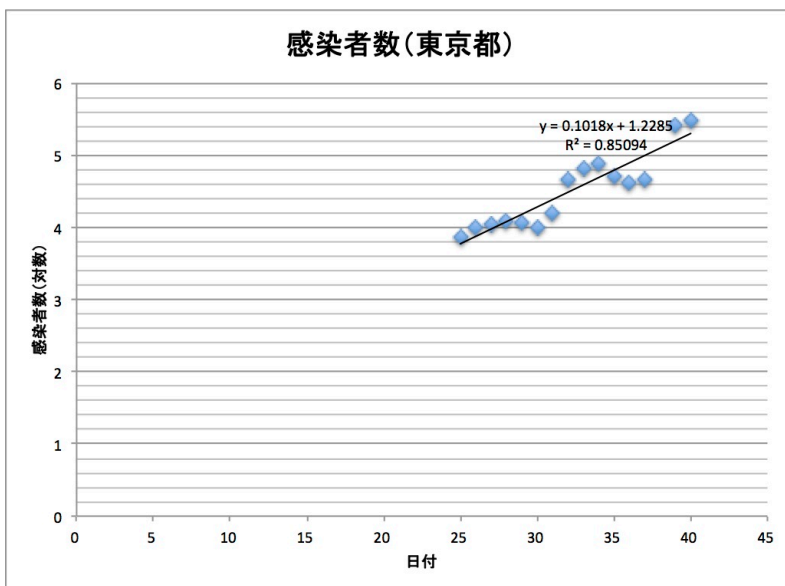


図1 東京都の新規感染者数の推移（対数表示）

そこで今後の予想をしてみると、7月15日の一日の感染者数は 333人 となり、今月末の7月31日には 1,700人 になることがわかりました（図2）。このペースで感染者が増えると今月末には累計で 23,000人 を超えることになり、現在は特殊な環境にある若年者が多いのですが、前回と同様にこれが高齢者に波及するのは時間の問題です。また、死亡者数も致死率 4.7% と仮定して今月末には一日 80人 が亡くなることとなります。医療環境もいまでこそ余裕があるかもしれませんが、指数関数的に患者が増えると病床数 2,000 として 1-2週間 で医療崩壊が起きます。

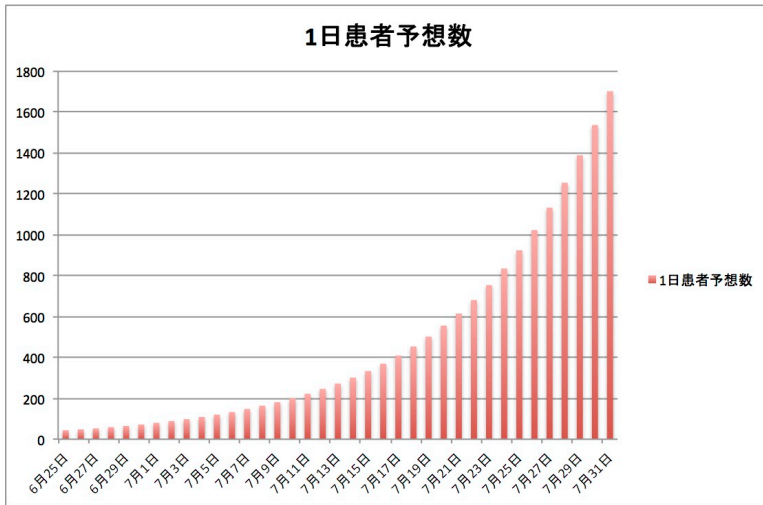


図2 1日あたり患者数の予想